

みんな

護ろう文化財

VOL.6

今回は波野に伝わる二つの市指定文化財を紹介します。

文化財保護委員

岩下 平助

有形文化財

しこくはらじゅうはらかしようはいどう

四国八十八カ所遥拝堂

所在 阿蘇市波野大字波野字遊雀

慶応2年(1866)に弘法大師ゆかりの四国霊場巡りがこの地で行きよう、建立されたと伝えられています。地元では「遊雀のお大師さん」「遊雀大師堂」で親しまれています。石仏は当初88体でしたが、現在は114体が整然と屋内に安置されており、県内はもとより全国的にも珍しい堂場です。石仏の最も古いものは明和9年(1772)です。



▲遥拝堂石仏



▲四国八十八カ所遥拝堂

史跡

ふるやしきあと

古屋敷跡

所在 阿蘇市波野大字新波野字田鶴山

根子岳の東麓の国道265号沿いにあり、地元では昔からタツガ屋敷と呼び、昭和初期まで人家があり新所村とも呼ばれていました。現地には、元治元年(1864)に建立された石碑が残り、「南無妙法蓮華經願主日向国宮崎郡大塚村 中村忠蔵」と記されています。この地は古戦場として島津・大友の戦いや西南戦争の役で両軍が戦った記録が残ります。また、本村西部地方発祥の地と思われる屋敷跡という説もあります。



▲古屋敷跡

氷のオブジェ(芸術)

先月号で紹介した古閑の滝の他に、厳冬期に寒波がくると滝全体が自然に凍り氷のオブジェを作り上げる場所がもう1ヶ所あります。そこは仙酔峡の横を流れる川です。古閑の滝ほどの迫力はありませんが、一味違った魅力があり、穴場のスポットになっています。駐車場付近の橋から見る事ができます。

※現地までの道路や歩道は路面が凍結していることが予想されます。十分注意しましょう！

※立入禁止されている場所や危ない場所に入ることは絶対にやめましょう。

仙酔峡の写真

